

デフバスケットボール日本正代表選手／強化指定選手の選考基準について Ver.3(修正部分は赤字で表示)

目標

2025年夏季デフリンピック@東京(誘致中)メダル獲得

強化中長期計画『4ヵ年計画』

【別紙資料】02-2022年度_4ヵ年計画.pdf

日本正代表選手、強化指定選手に必要な条件

- ・日本国籍を持っていること
- ・**当該年度の(←削除)JDBA会員に加入していること**
- ・裸耳状態で、聴力損失が55デシベルを超えている聴覚障がい者(身体障害者手帳所持者)
- ・JDBAが指定する講習会を全て受講すること(サインバスケ、倫理、アンチドーピング等)
- ・**強化指定選手、正代表選手に選出された当該年度より全日本ろうあ連盟に会員登録すること(デフリンピック派遣委員会より出される【日本選手団の編成にかかる指針】に従う)**
- ・日本代表としての誇りと責任感を持ち、合宿やイベントに積極的に参加できること
- ・講習会でのディスカッションなどにて、積極的に意見を述べようとする姿勢を持つこと

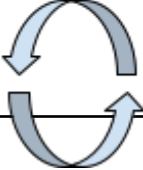
選考基準

「強化指定選手」「正代表選手」と段階的に分けて、下記のように区別する

⇒「強化指定選手」... 選考合宿(トライアウト)での選考を経て選ばれた選手は強化合宿に参加できる

⇒「正代表選手」... 強化合宿で選考を経て選ばれた選手はデフリンピックや世界大会に参加できる

※「強化指定選手」を経ずに、いきなり「正代表選手」になることはない

 <p>強化指定選手 (3人制定員6名) (5人制定員10名)</p>	<p>1. デフリンピック派遣元である「全日本ろうあ連盟」が主催する大会に参加して、選考を経て選ばれた選手</p> <p>2. 選考合宿(トライアウト)に参加して、選考を経て選ばれた選手</p> <p>3. 上記以外で、強化委員会推薦のもと、理事会で承認された選手</p> <p>【補足説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 上記1-3のいずれかの選考を受けて合格通知を受けた選手は強化指定選手として強化合宿に参加できるものとする。 ● 選考基準は強化委員会と代表監督が話し合って事前に定めるものとする。代表監督が不在、もしくは未選定の場合は強化委員長が一時的に担当するものとする。 ● 対象年齢は原則中学生以上だが、出場する世界大会当時の年齢を考慮した上で理事会承認があれば小学生でも対象可とする(未成年は保護者同意書が必須)
<p>正代表選手 (3人制定員4名) (5人制定員12名)</p>	<p>強化合宿中の選考を経て、正式に当協会に認められた日本代表選手</p> <p>【補足説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 原則、中学生以上であること(未成年は保護者同意書が必須) ● 3人制／5人制それぞれのカテゴリごとの重複在籍を認めない ● 上記カテゴリそれぞれにて、アダルトとU21の重複登録を認める ● 当協会の財政状況によって、定員は変動する

正代表が認められた後でも、周囲に迷惑をかけるような言動や問題を起こした場合などは、強化委員会で協議した上で資格を剥奪する場合がある(JDBAホームページに記載されている「基本規定」に準じて判断)。

▪支援について

強化指定選手／正代表の金銭的支援に関しては、所定の助成金に関連項目があれば支援は可能とする。ただし、全額免除ではなく、自己負担額の最大80%程度の支援となることは理解して頂く必要がある。

▪派遣依頼書について

強化指定選手、正代表選手の立場に関係なく、JDBAの名前で派遣依頼書を出すことはできる。郵送料の節約のためスキャンしたデータを該当選手に送る方法を原則とする。但し、JDBAから直接会社などに送ってほしい場合は相談のこと。

▪その他

アンダーカテゴリー育成を見据えて、将来性のある小学生高学年の強化指定選手への加入を、理事会の承認を得た上で認める。但し、当該選手の保護者の同意書を理事会に事前に提出しなければならないものとする。但し、正代表は原則として中学生以上とする。

身体障害者手帳(聴覚障害)がもらえないほど軽い症状であっても、補聴器や手話が日常生活の一部に関わっている選手を強化指定選手として認定するチャンスを与えたいと考えているので、一度は協会に連絡をお願いしたい(今後聴力が変化する可能性も少なからずあるため)。

<問い合わせ先>

特定非営利活動法人日本デフバスケットボール協会

強化委員会 担当窓口(kyouka@jdba.jp)